



特集 6 あなたが住む街からの情報発信への取組

(医療・福祉の充実－6)

双方向告知通信システムを活用した 高齢者の安否確認サービス (新潟県村上市朝日地区)

【概要】

朝日地区では、双方向告知通信システム「知らせますケン」を導入し、光ブロードバンドネットワークを通じて、高齢者の安否確認を行う事業を行っています。地区の独居高齢者を対象に、告知放送の双方向機能を使った健康診断や安否確認、テレビ電話機能を使った保健師による相談などを行っています。

【コラム】

告知通信システムを利用し、朝日支所から高齢者に毎朝いろいろなお知らせを自動的に配信します。送られてきた告知放送の画面に高齢者がタッチすると、双方向機能を利用し内容の視聴・未視聴の情報が朝日支所に返信され、その情報を安否確認等に利用することができます。その他のお知らせには、動画を利用した健康アドバイスや介護予防体操などがあり、わかりやすく普段の生活に役立つ情報も配信しています。

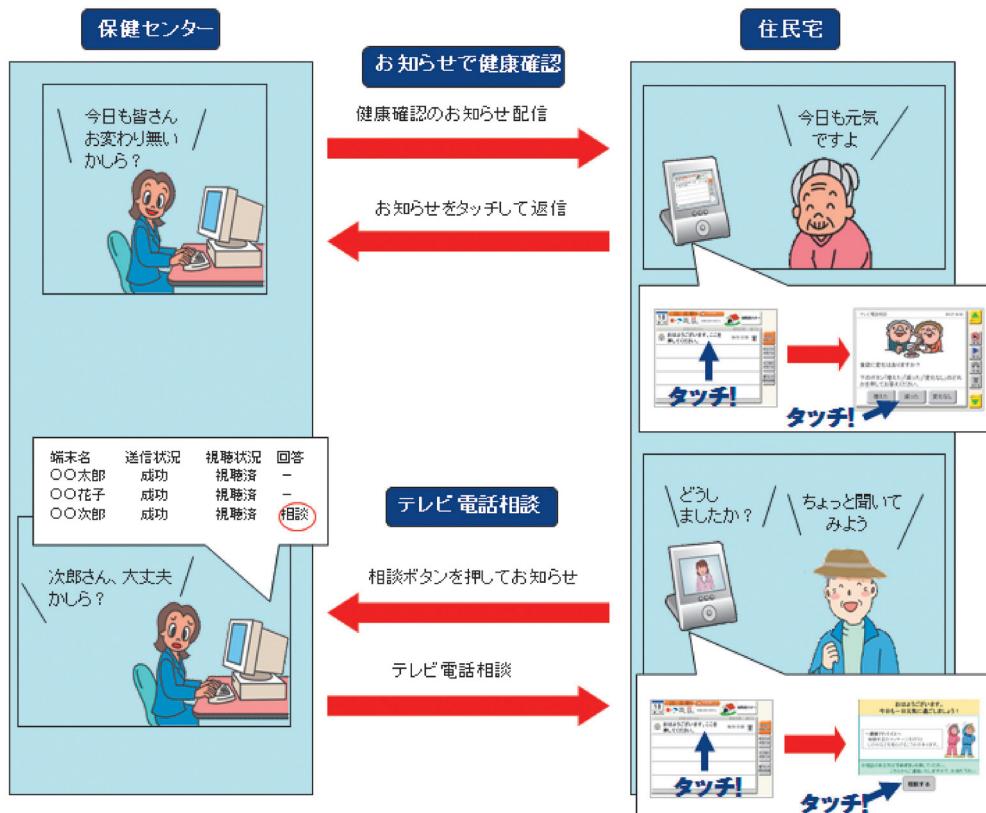
また、大きな特徴としてテレビ電話機能を利用し、顔を見ながら会話をすることができます。訪問できない場合でも、テレビ電話画面を通じて相手の健康状態や精神状態も把握でき、必要に応じての訪問対応など、効率的な活動と正確なアドバイスやサポートが可能になりました。

また高齢者が相談をしたい場合は、お知らせ画面の相談ボタンをタッチするだけで、朝日支所にその情報が伝えられ、それを確認した保健師がテレビ電話をかけるという対応を行っています。身近な保健師からかかってくるので安心して相談でき喜ばれています。高齢者の操作は送られてきた内容を見た後、画面に触るだけなので、毎日無理なく続けることができています。また、保健師もパソコンのマウスでの簡単操作で配信や管理ができるため、負担なく運用が行われています。

テレビ電話機能を利用して顔を見て話ができ、常に繋がっている安心感を感じられ、笑顔溢れる温かいコミュニケーションが生まれています。

高齢者の見守りサービス

- ・お知らせ配信による安否確認
- ・テレビ電話相談



(問い合わせ先)

東日本電信電話株式会社 B&O事業推進本部 公共営業部 TEL:03-6803-9055

株式会社アイ・コミュニケーション

e-mail:shinchi@i-communication.co.jp